思い胸に いざさらば

岩日タイムズ

発行者
岩瀬日本大学
高等学校
新聞部

猿山　祈
佐藤　壱哉

涙と笑顔あふれ　岩日を巣立つ
～平成30年度卒業式～

３月３日、本校体育館において、第17回卒業式が行われました。入場した先輩方からは、自信に満ちあふれ、頼もしい雰囲気が感じられました。卒業証書授与では担任の先生の呼びかけに、卒業生のさわやかな返事が体育館に響き渡りました。

その後、佐藤理事長の告辞、齊藤校長の式辞に続き日本大学法学部長の小田司先生から祝辞を頂きました。

１８９名の卒業生を代表して小島さんが答辞を読む

齊藤校長は、水泳の池江璃花子選手が、今こうしている間にも病気と闘っていることを挙げ、どんな困難にも最後まで諦めないで頑張ってほしいと激励の言葉を贈りました。

現生徒会長の山崎悠斗さんの卒業生への感謝の意を込めた送辞、そして前生徒会長の小島隆聖さんの答辞では常に前向きに「楽しむ」というメッセージを私達在校生に託してくれました。

精一杯自らの想いを伝える

来賓の小田先生による祝辞

その後、各クラスに戻り、高校生活最後のホームルームが行われました。担任の先生が、クラスの一人ひとりに卒業証書を手渡し、思い思いの言葉で卒業生たちの新たな門出を祝福していました。卒業生たちからも感謝のことばが伝えられ、教室は寂しくも温かい雰囲気に包まれていました。（佐藤）

３組の美しい黒板アートが卒業式に華を添えた

編集後記

この度は３年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。初めて岩日の卒業式に参加してとても良い経験になり、私もあと一年で卒業するんだと感じました。

残りの高校生活を前向きに「楽しむ」よう心掛け、日々の生活を友達と一緒に手を取り合って精一杯頑張っていきたいです。（猿山）